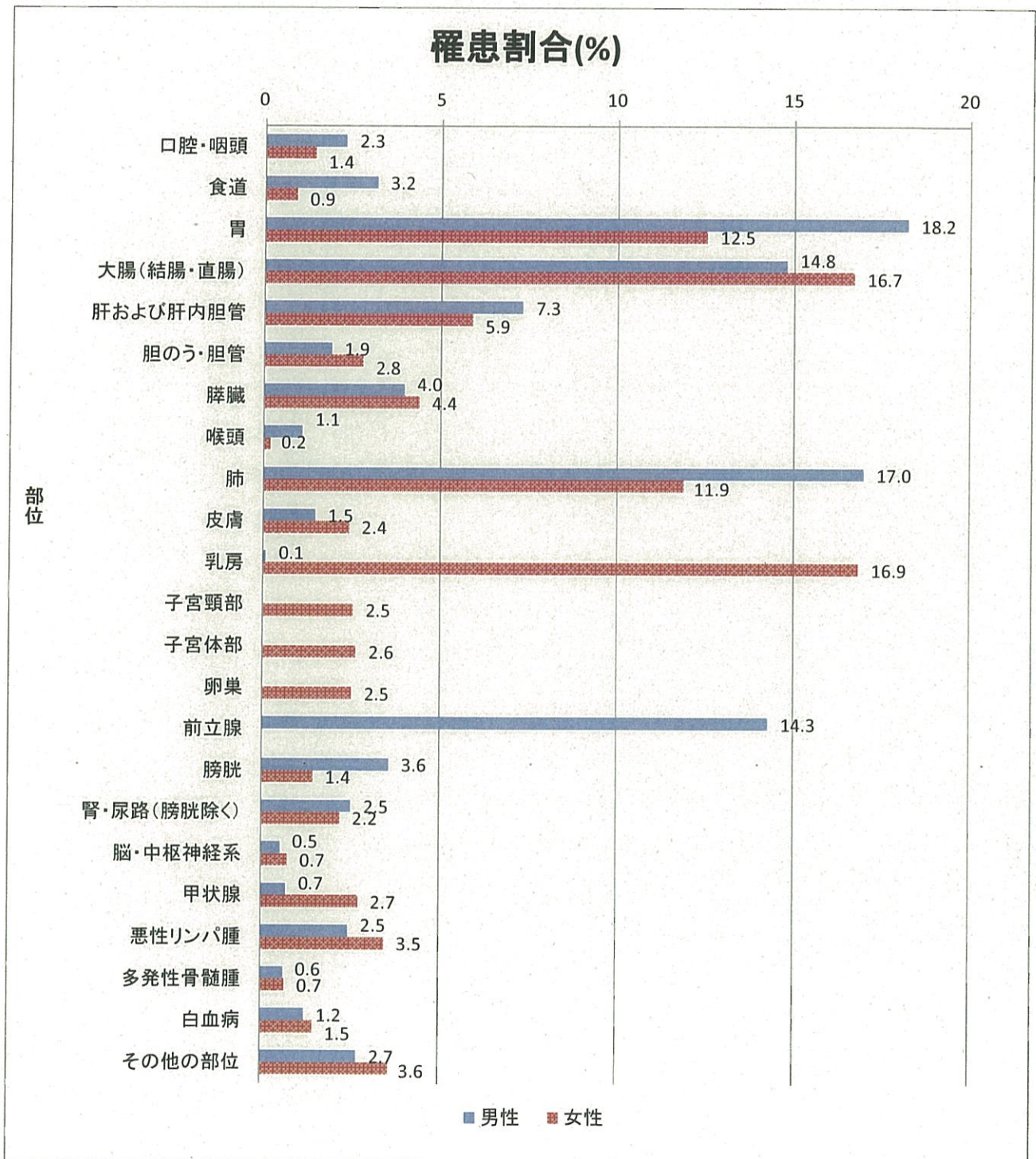


罹患割合 (%) : 部位別・性別

男性の罹患割合で最も多いのが、胃がんであり、次いで肺がん、大腸がん（結腸＋直腸）、前立腺がんである。女性で最も多いのが、乳がんであり、次いで大腸がん（結腸＋直腸）、胃がん、肺がんと続く。

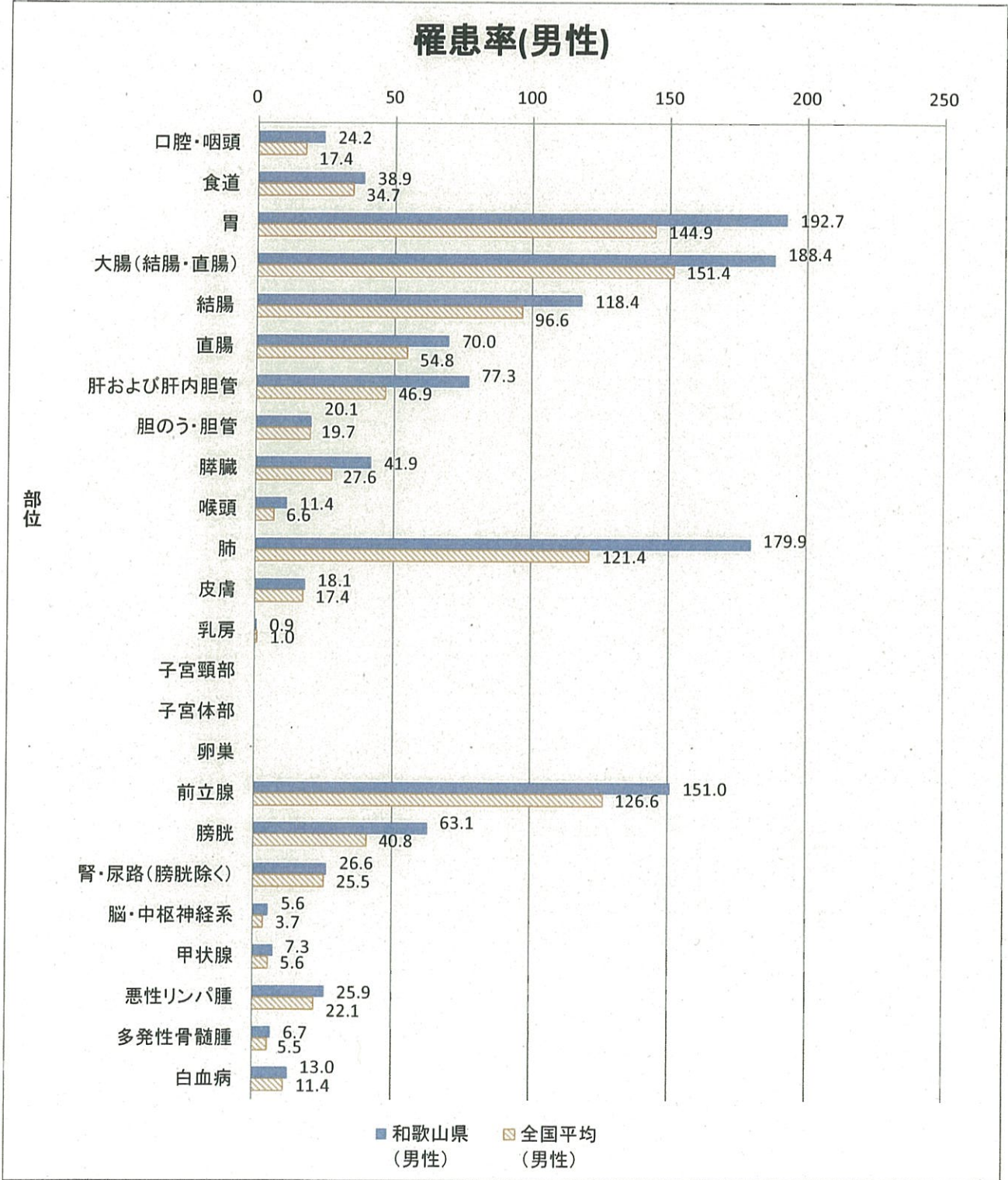


※ 大腸の内訳 : (男性) 結腸 9.0、直腸 5.8 (女性) 結腸 12.3、直腸 4.4

※ 標準集計表の表 1-A から作成

部位別粗罹患率（男性）・和歌山県と全国平均との比較

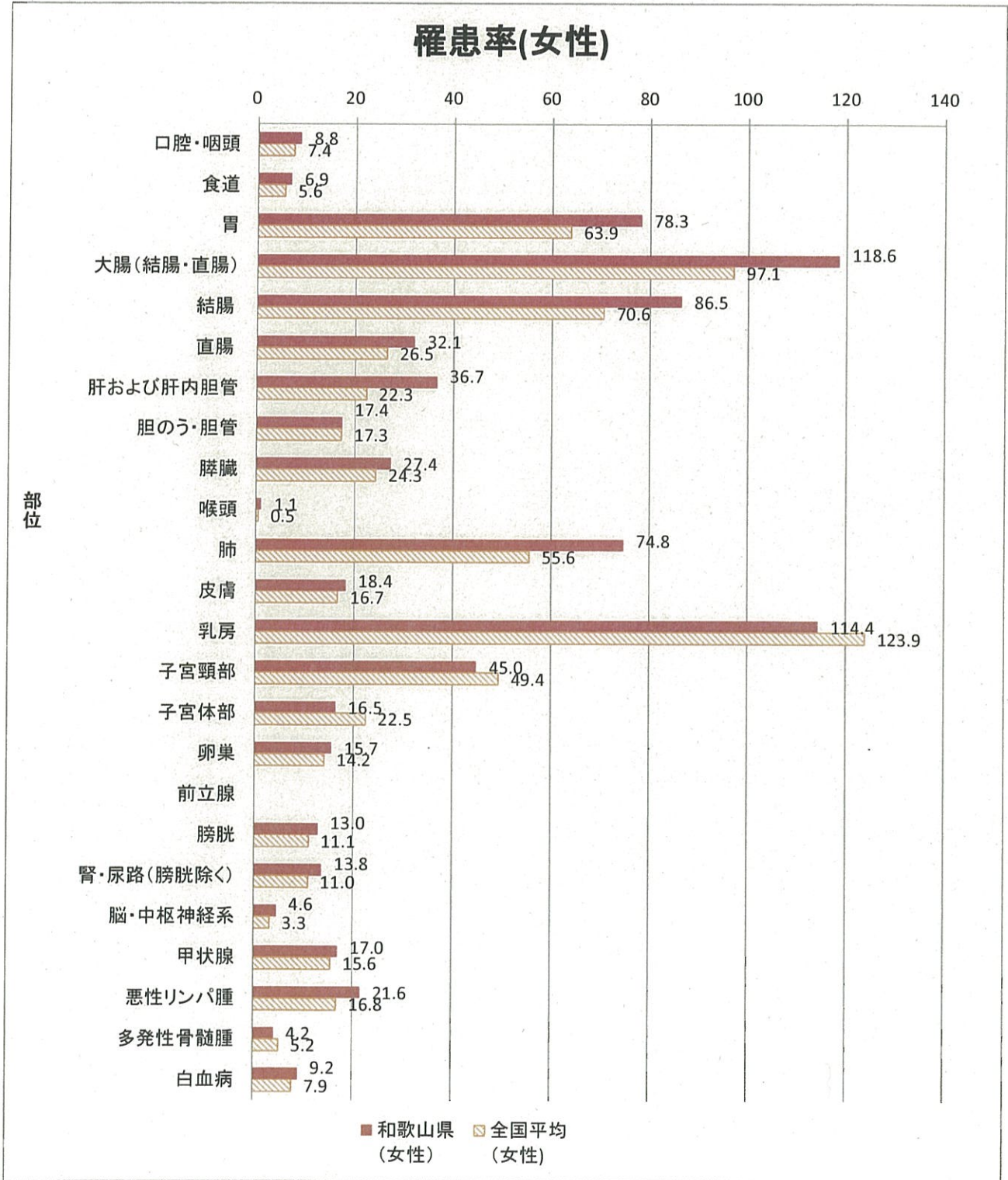
全国平均との比較で見ると、男性ではほぼすべての部位で全国平均より高い粗罹患率となっている。特に、肺がん、胃がん、大腸がん（結腸+直腸）、肝および肝内胆管がん、前立腺がんの順で顕著に高くなっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別粗罹患率（女性）・和歌山県と全国平均との比較

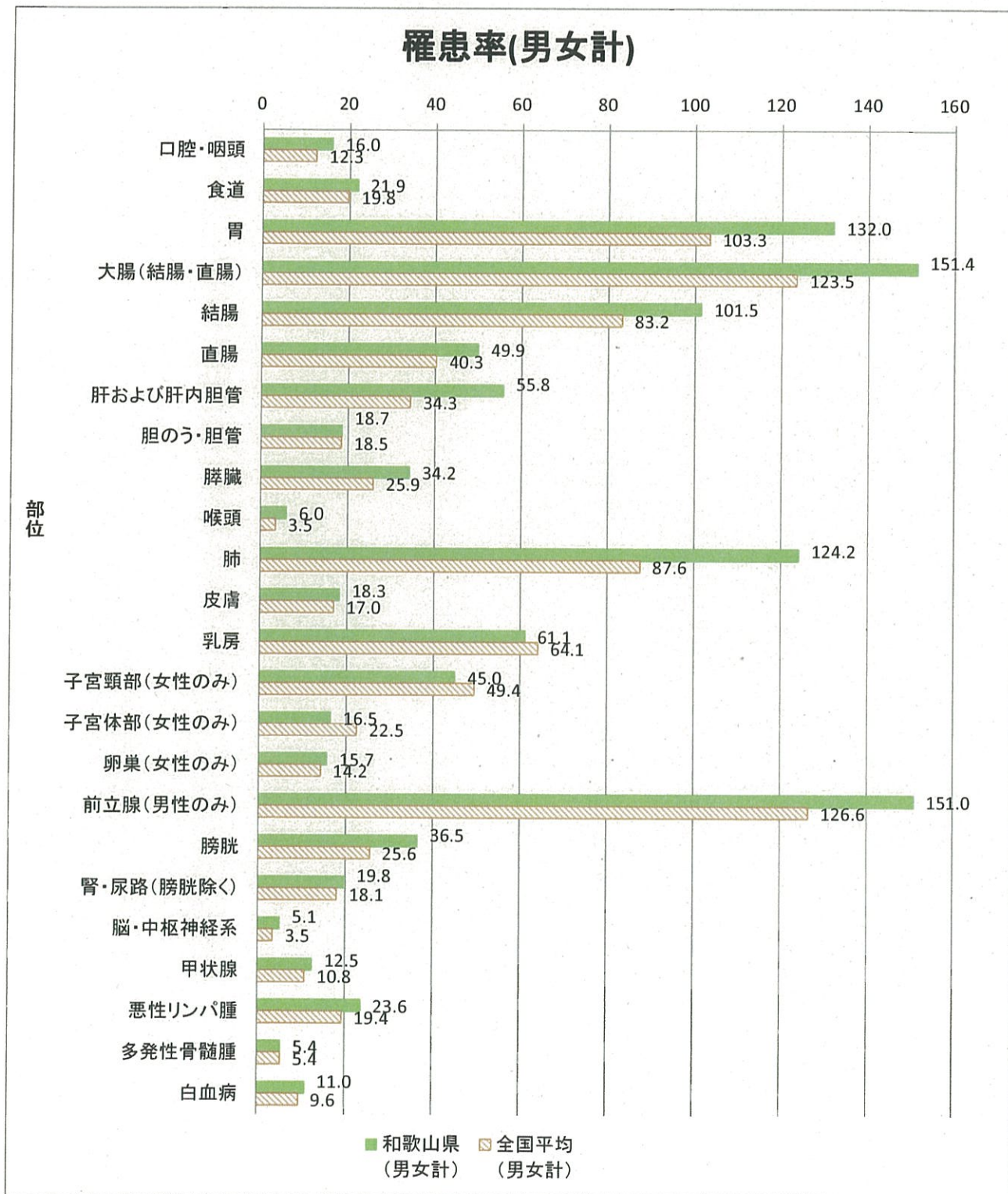
全国平均との比較でみると、女性でもほとんどの部位が全国平均より高い粗罹患率となっているが、特に大腸がん（結腸＋直腸）、肺がん、胃がんが高くなっている。また、乳がん、子宮体がん、子宮頸がん、多発性骨髄腫は全国平均より低くなっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別粗罹患率（男女計）・和歌山県と全国平均との比較

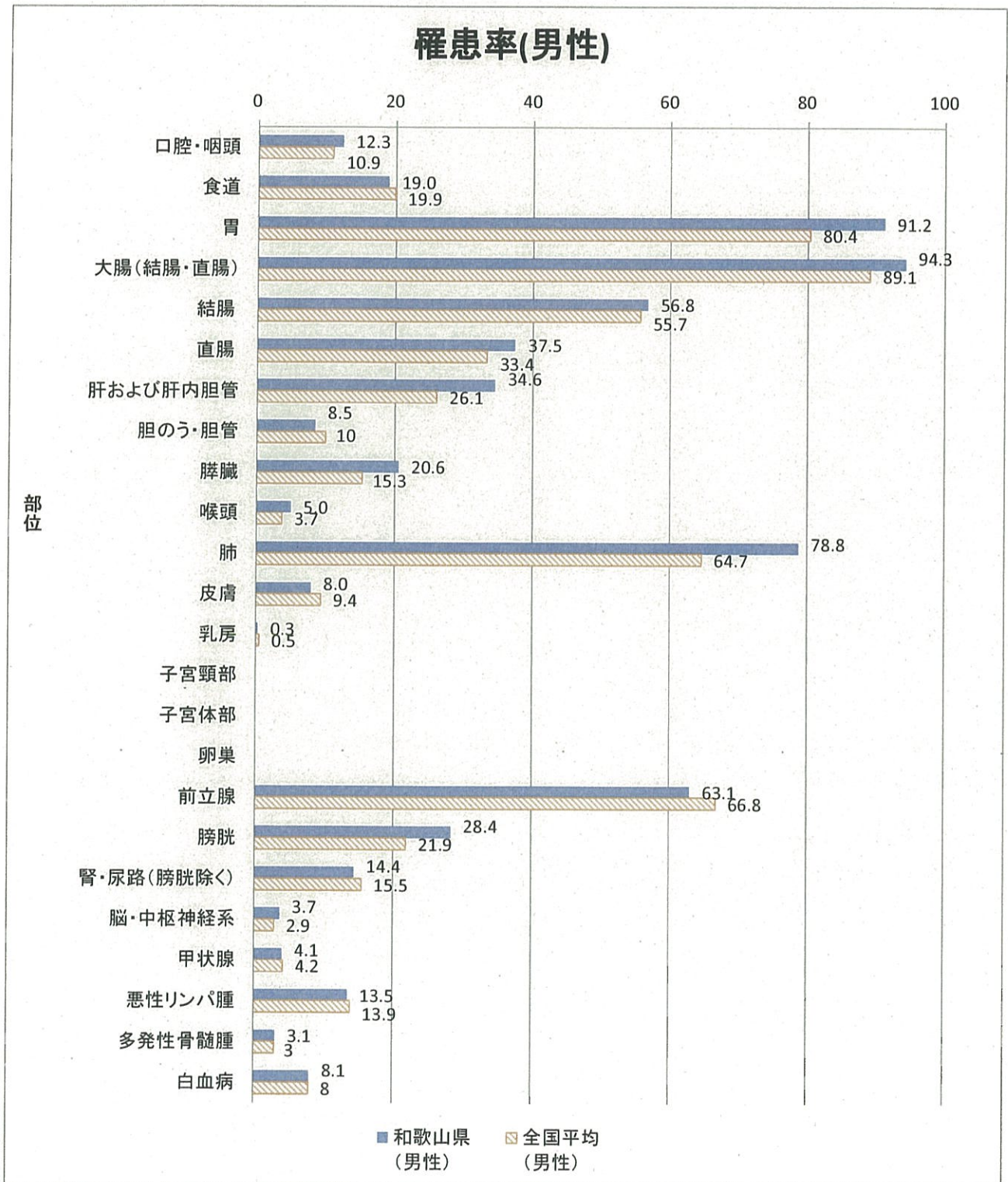
全国平均との比較で見ると、特に肺がん、胃がん、大腸がん（結腸+直腸）、前立腺がん、肝および肝内胆管がんで全国平均より高い粗罹患率となっている。また、子宮体がん、子宮頸がん、乳がんが全国平均より低くなっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別年齢調整罹患率（男性）・和歌山県と全国平均との比較

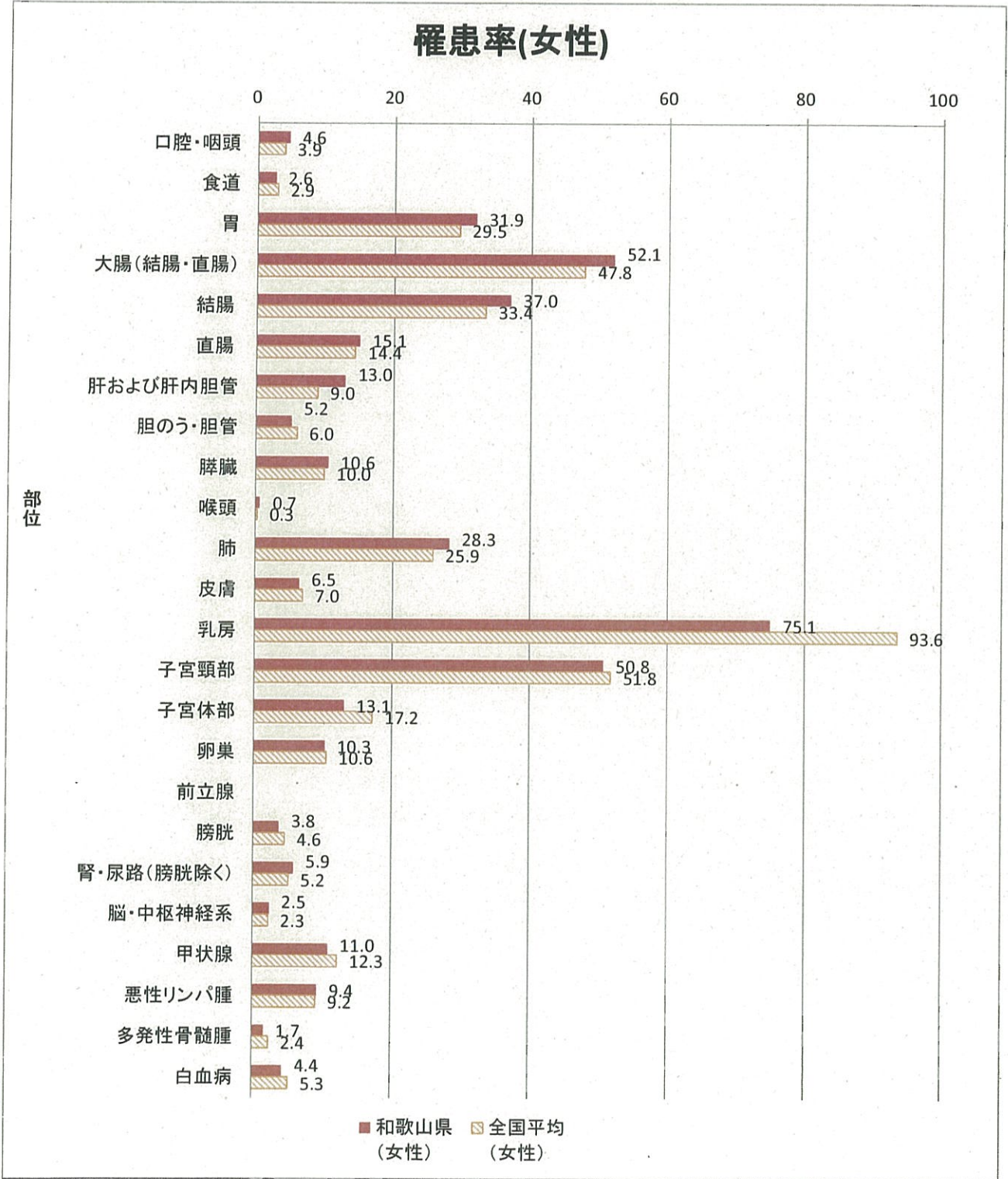
男性の年齢調整罹患率は、年齢調整をすることにより、粗罹患率と比べると全国平均との差は縮まるか、低くなっている。特に粗罹患率で全国平均より高かった前立腺がんは、逆に低くなっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別年齢調整罹患率（女性）・和歌山県と全国平均との比較

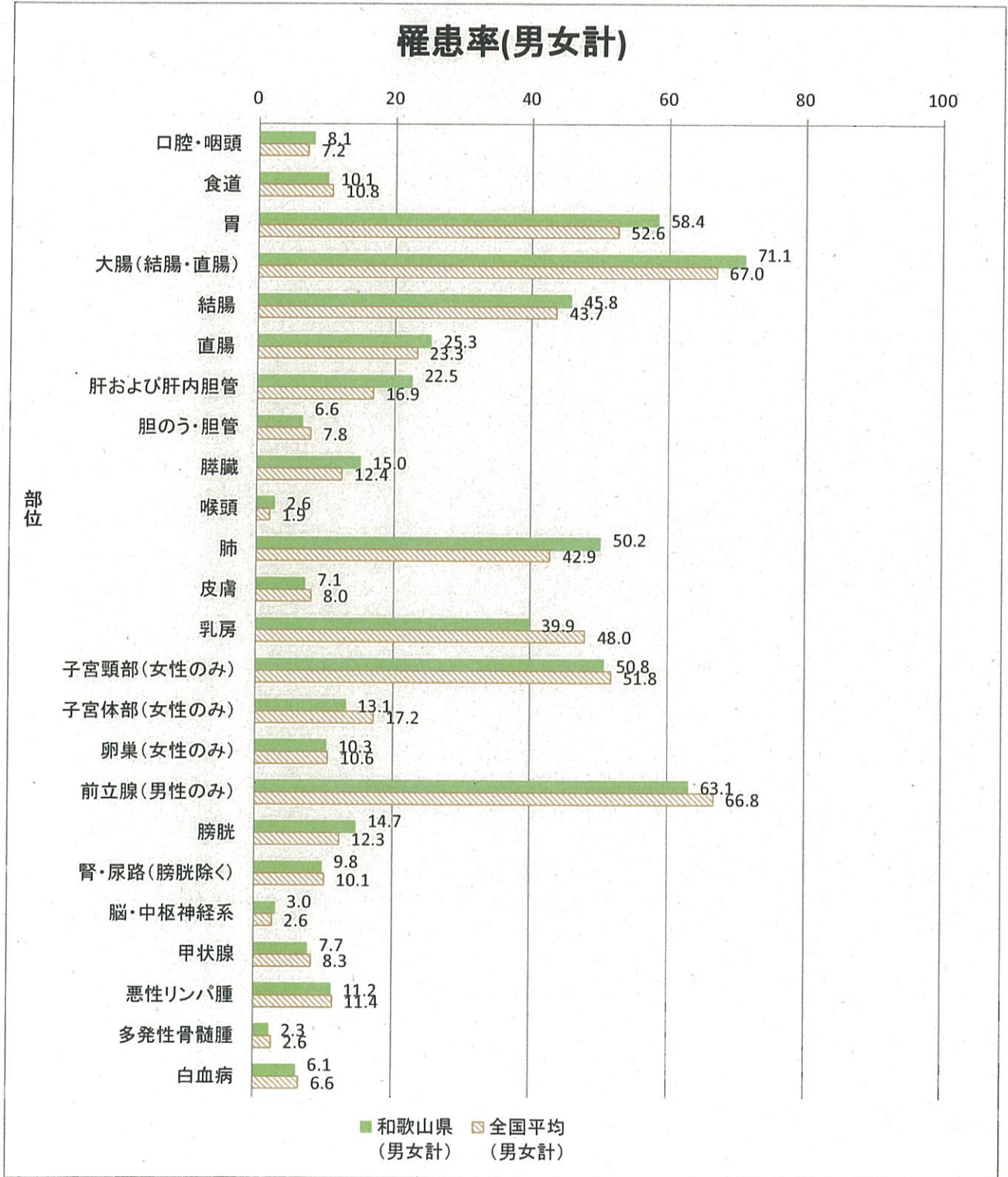
女性の年齢調整罹患率を全国平均と比較すると、乳がんがかなり低い罹患率を示している。一方で乳がん以外の部位は、年齢調整をすることにより、全国平均と比較すると、粗罹患率と比べてその差が小さくなっており、全国平均にほぼ近い割合となっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別年齢調整罹患率（男女計）・和歌山県と全国平均との比較

男女計の年齢調整罹患率は、全国平均と比較して、肺がん、胃がん、大腸がん（結腸＋直腸）、肝および肝内胆管がんが高く、乳がん、子宮がん、前立腺がんは低くなっている。しかしそれ以外はおおよそ全国平均と大差ない。

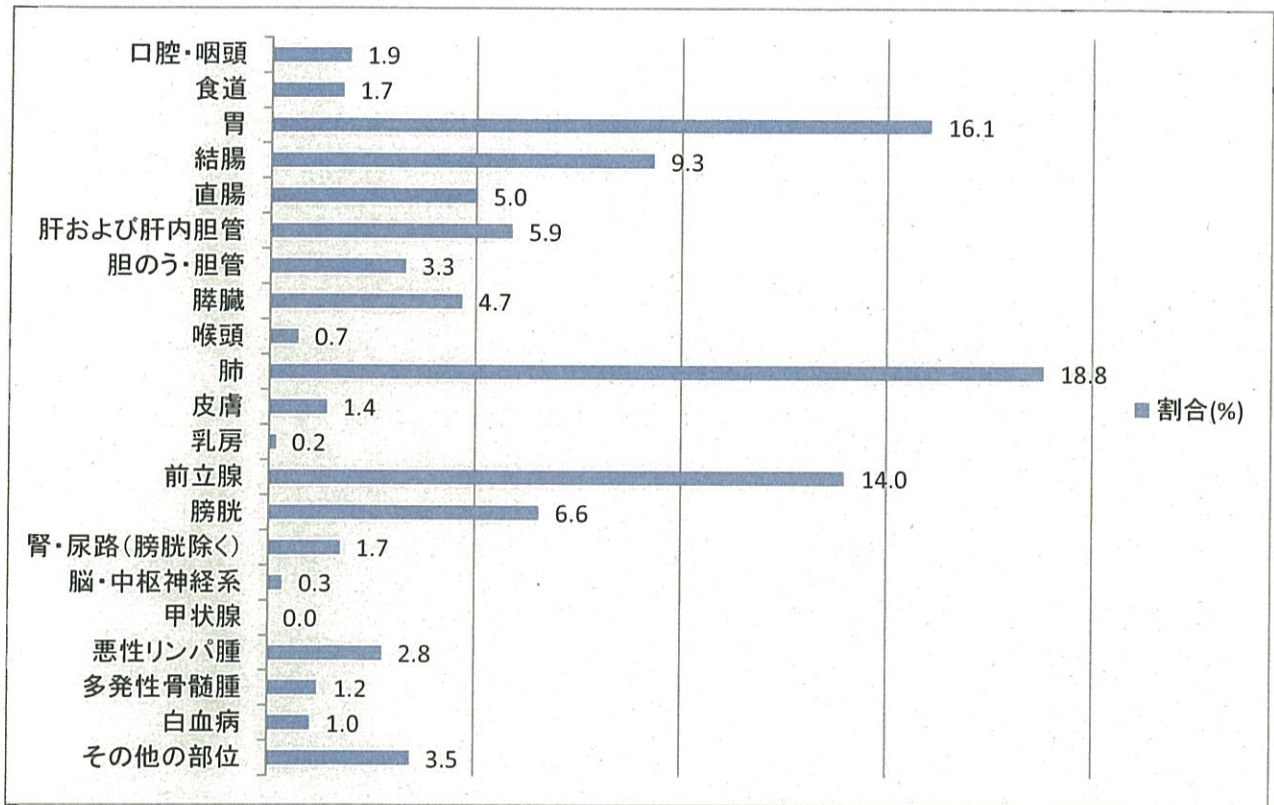


※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

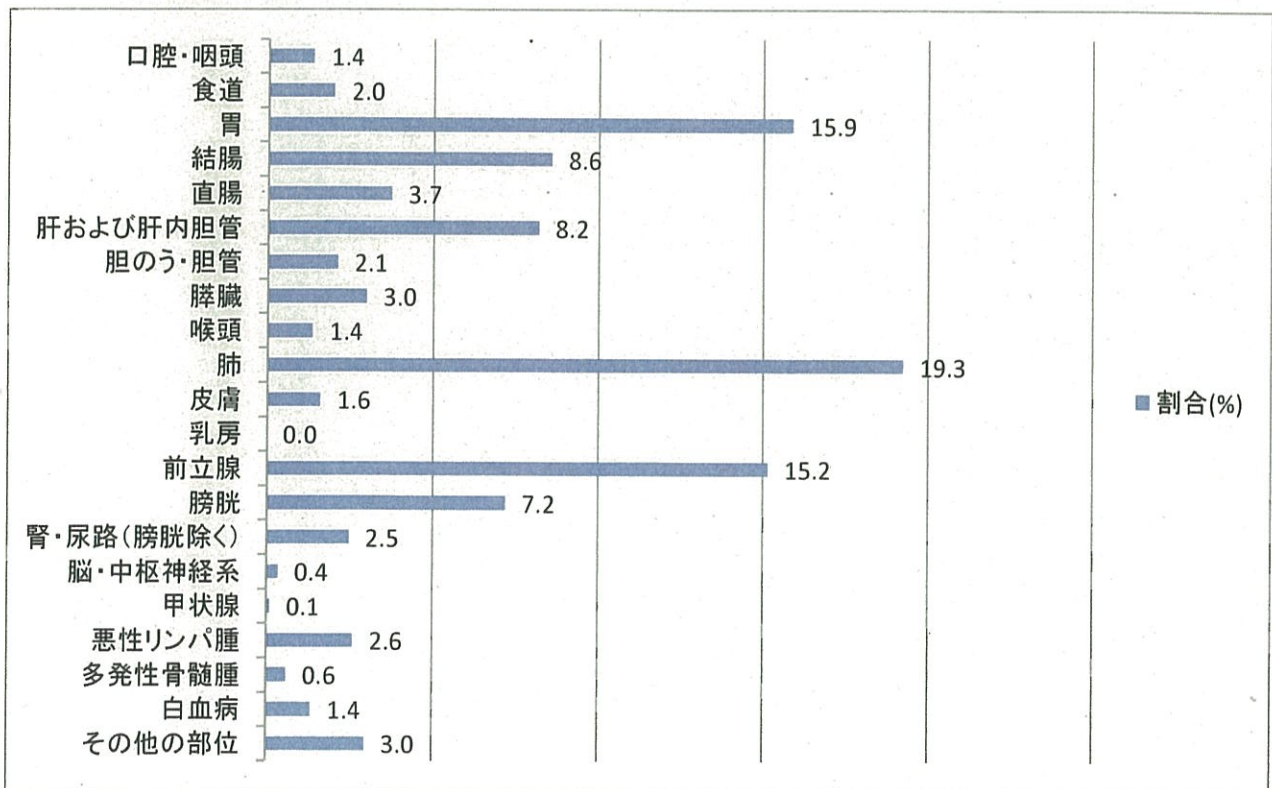
年齢階級別罹患割合：部位別、性別（男性） ※標準集計表の表 2-A、2-B から作成

年齢別では、80 歳以上では肺がん、胃がん、前立腺がんの順に高い罹患率を示している。

【85 歳以上】

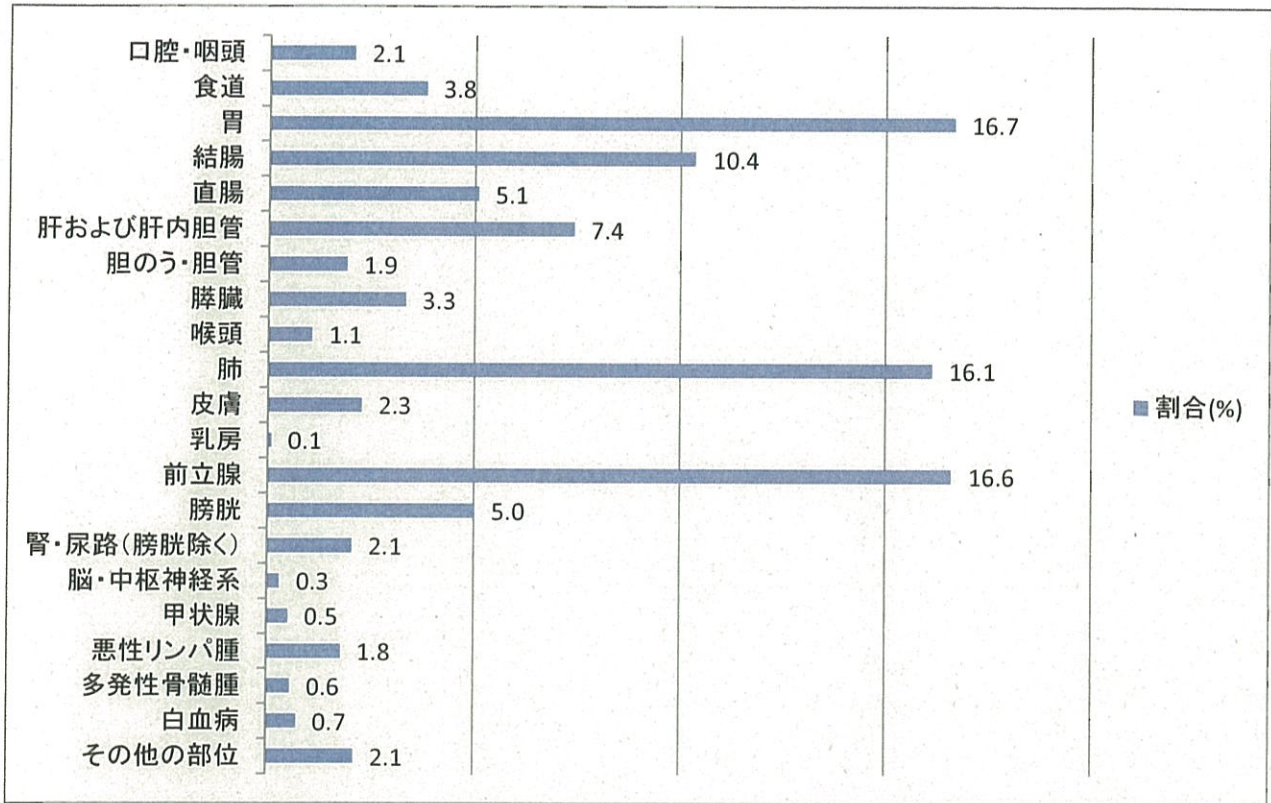


【80-84 歳】

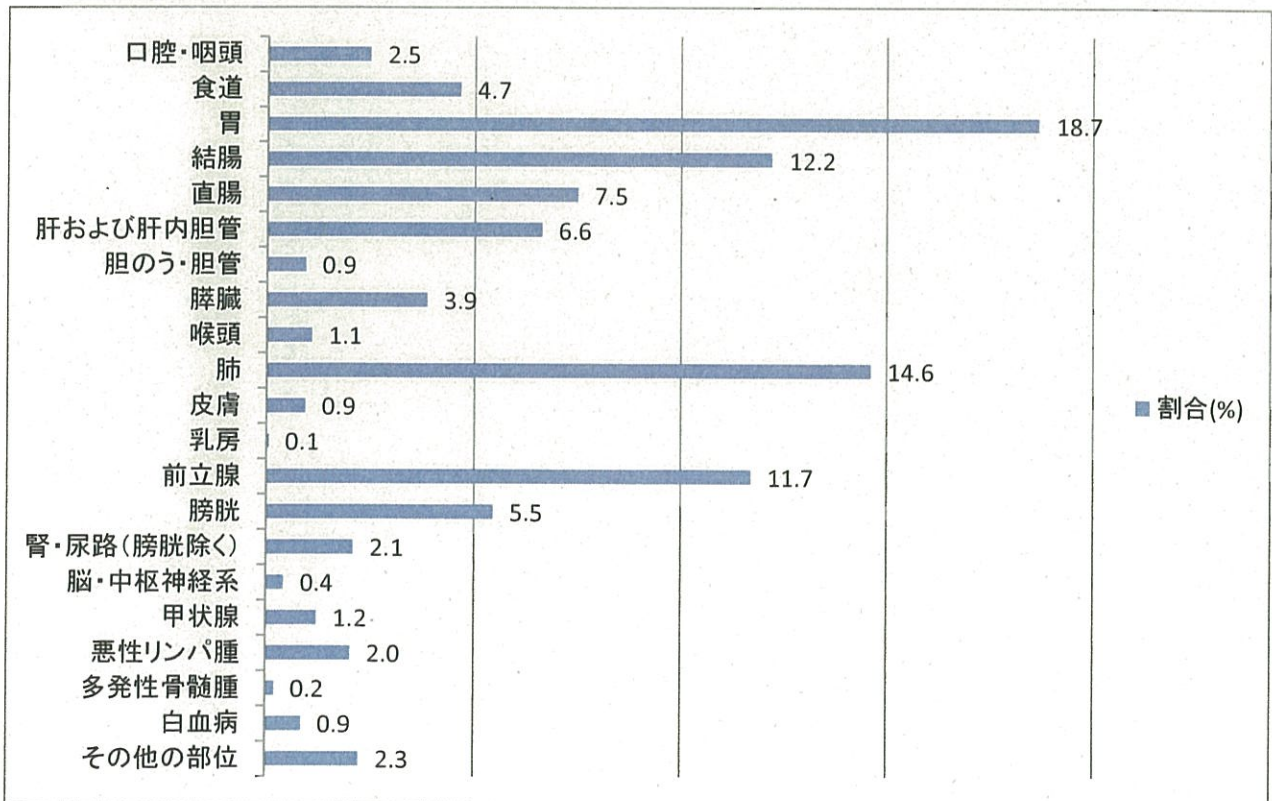


70歳代では胃がんと前立腺がんが高く、次いで肺がん、結腸がんとなっている。60歳代では胃がんが最も高く、次いで肺がん、結腸がん、前立腺がんとなっている。

【70-79歳】

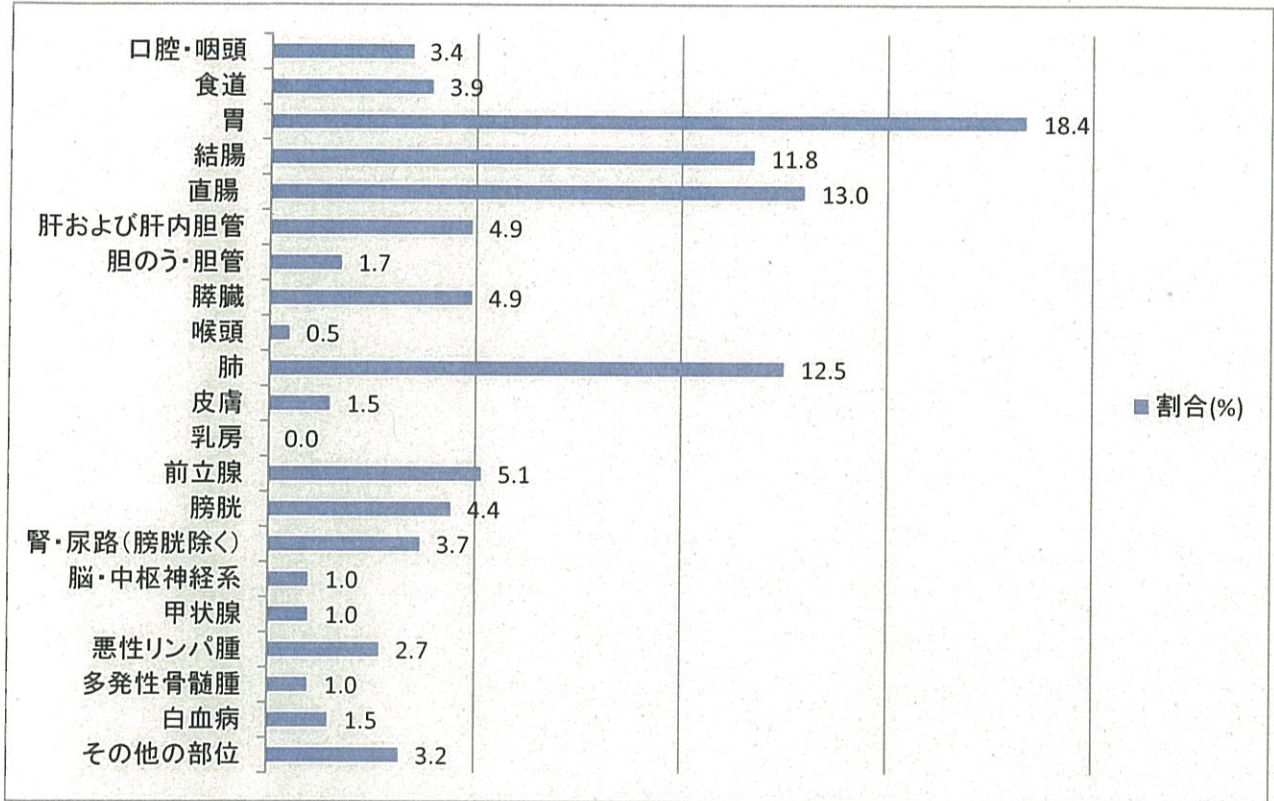


【60-69歳】

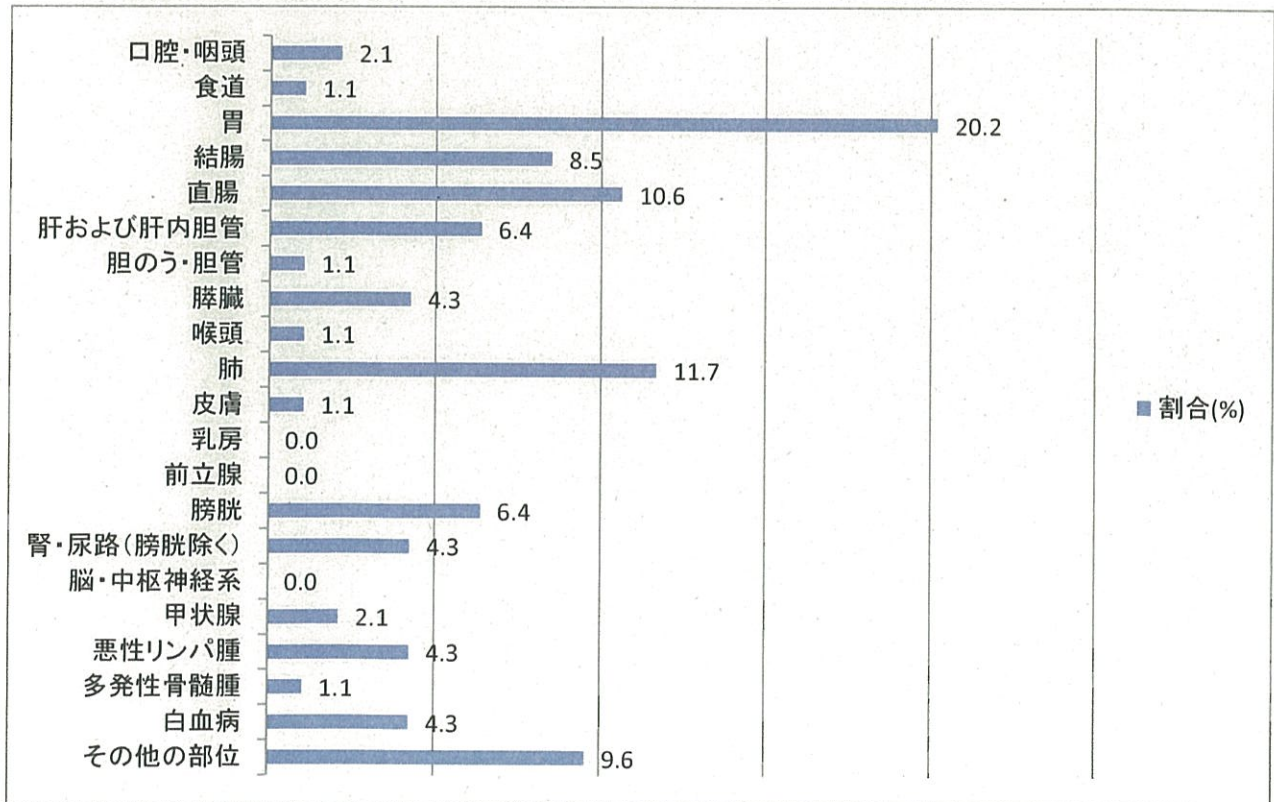


40歳から50歳代でも最も高いのは、胃がんである。次いで50歳代では直腸がん、肺がん、結腸がんと続き、40歳代では肺がん、直腸がんとなっている。

【50-59歳】

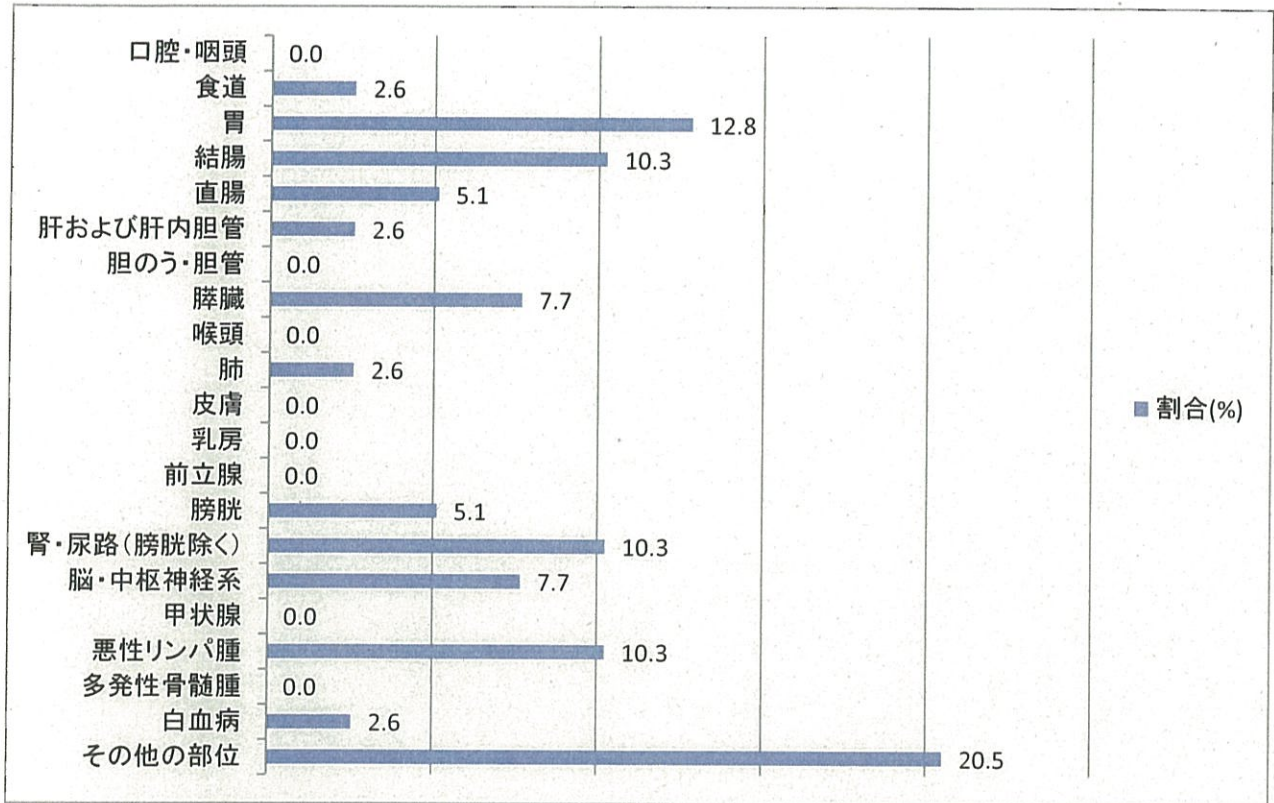


【40-49歳】

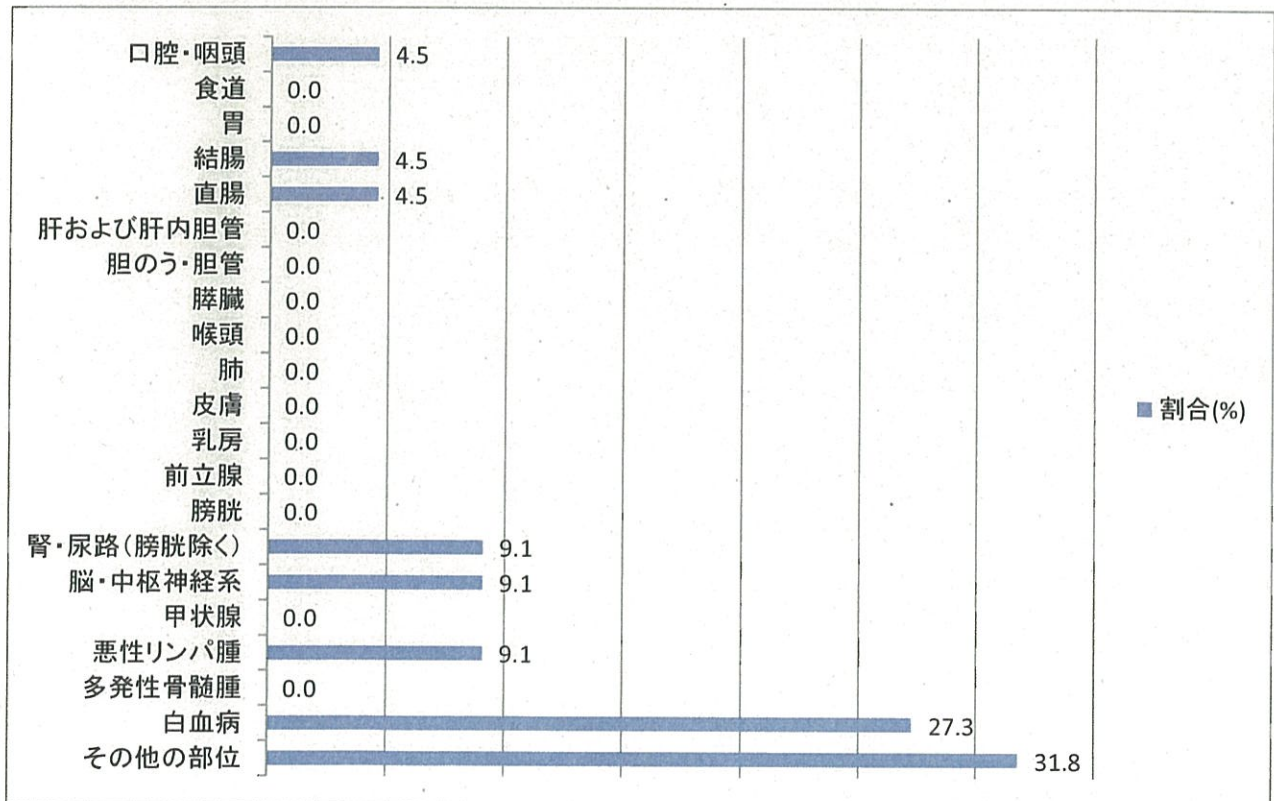


30歳代のその他部位のほぼ半数が占めているのは精巣がんであり、胃がんも高い。20歳代以下では白血病が最も高い。また、その他の部位の精巣がんがほとんどとなっている。

【30-39歳】



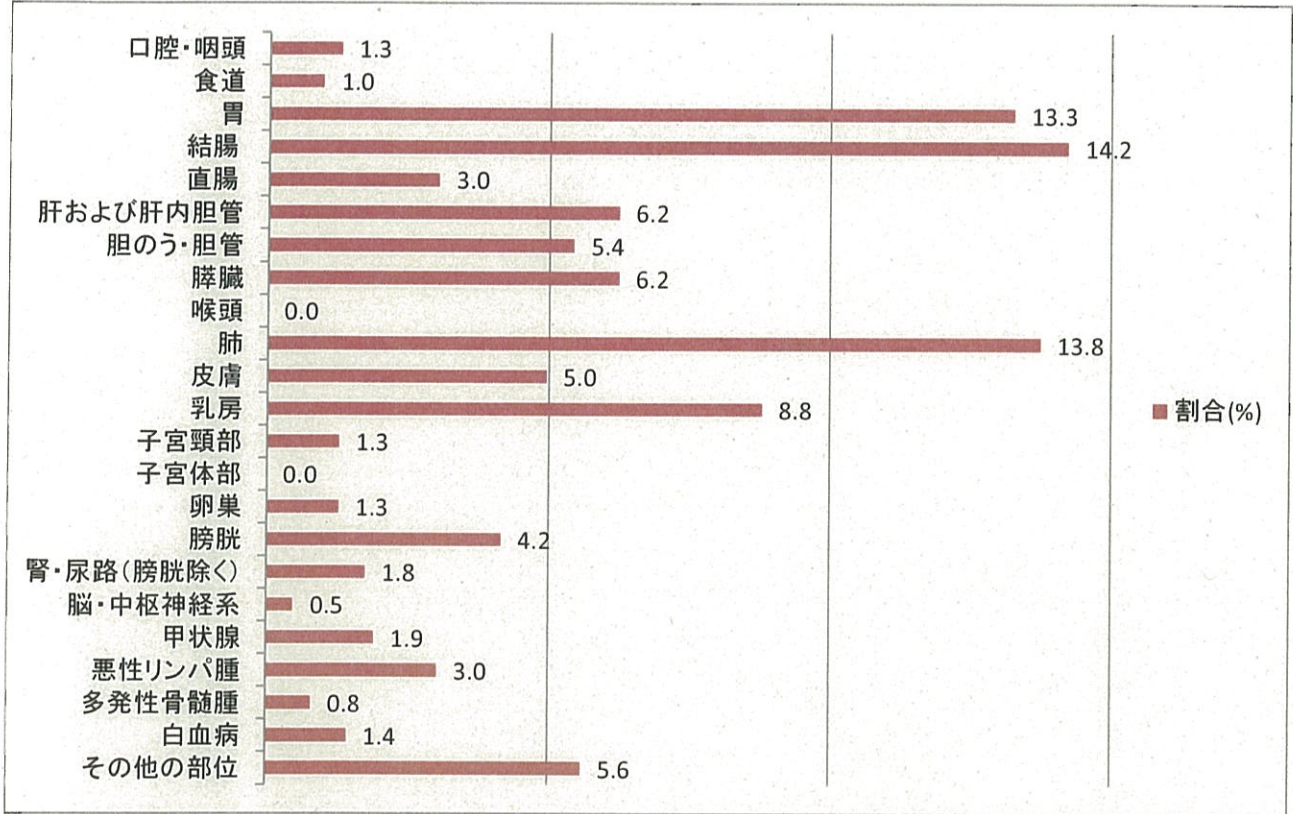
【0-29歳】



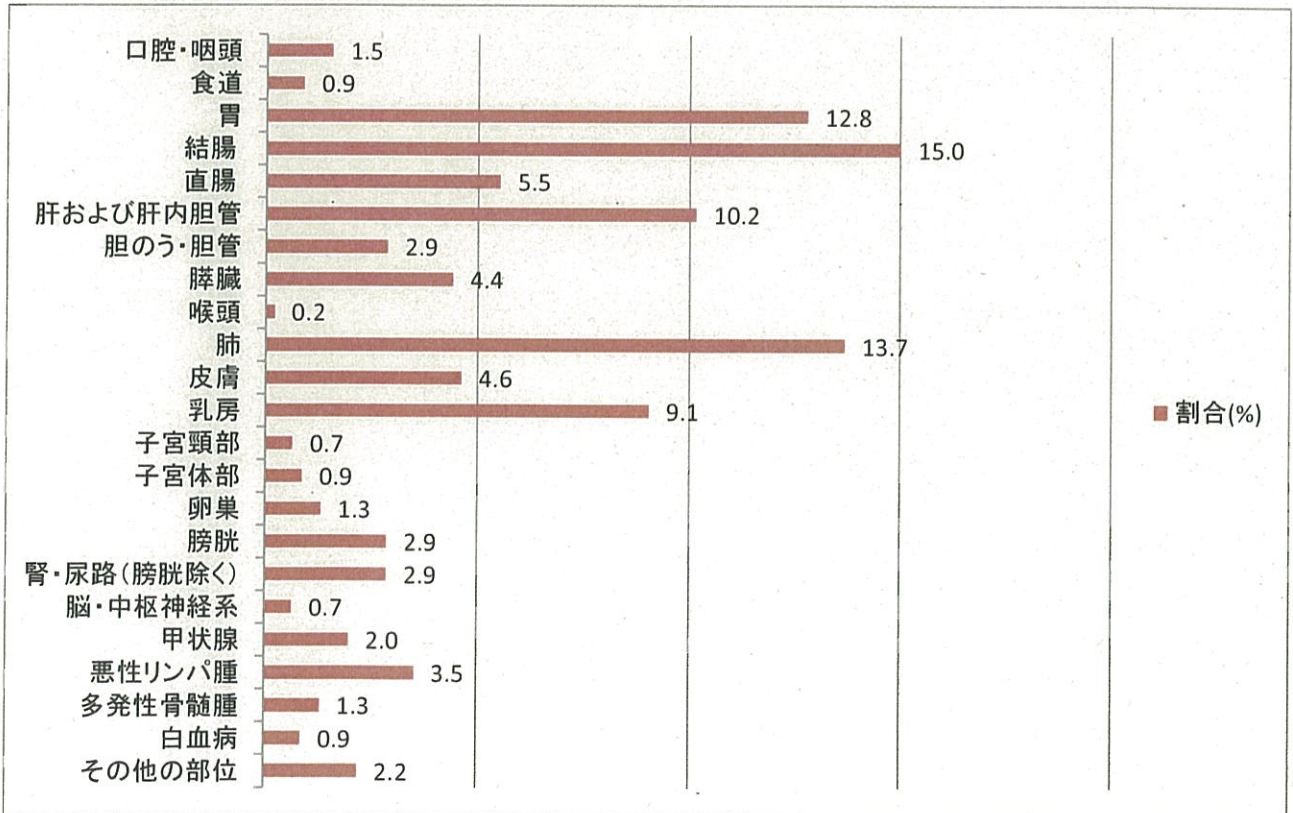
年齢階級別罹患割合：部位別、性別（女性） ※標準集計表の表 2-A、2-B から作成

年齢別では、80歳以上で最も高いのが、結腸がんであり、肺がん、胃がんが続く。

【85歳以上】

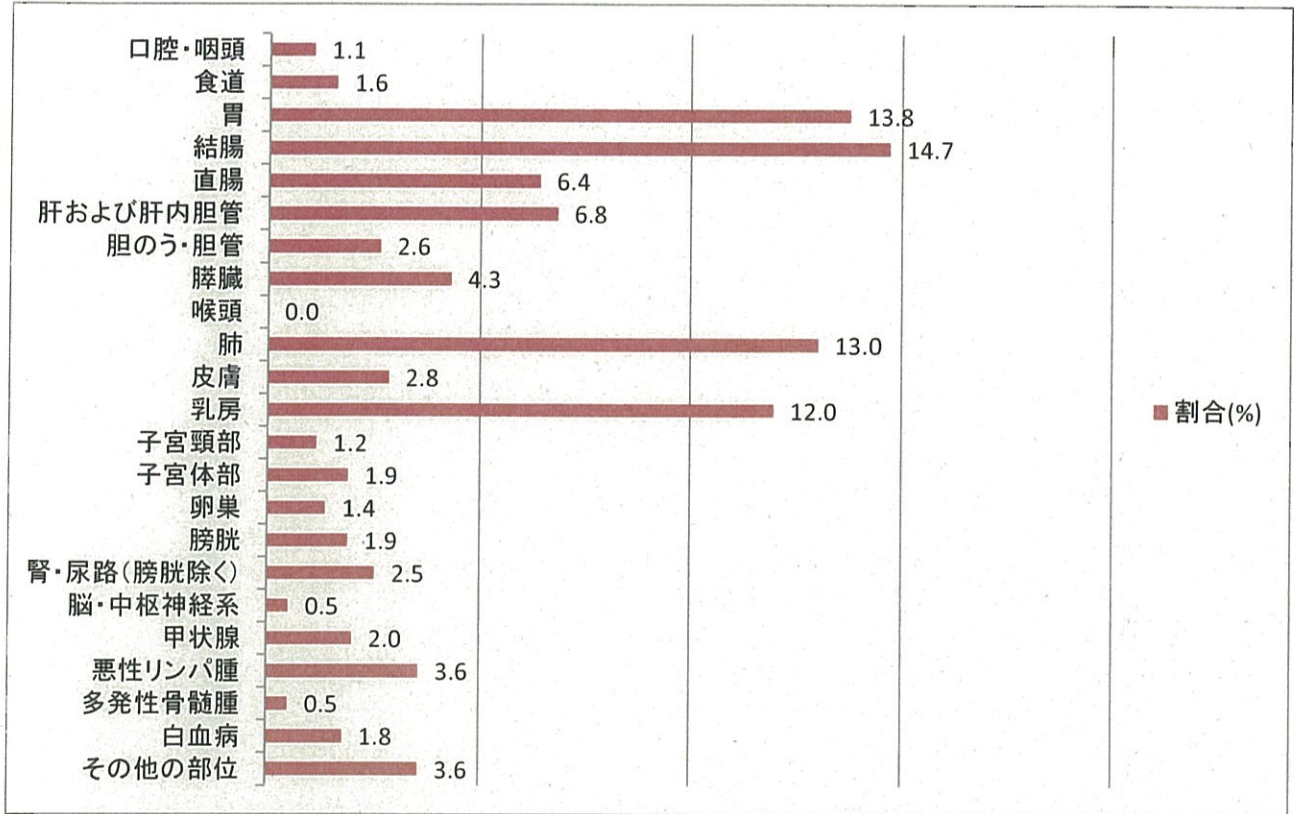


【80-84歳】

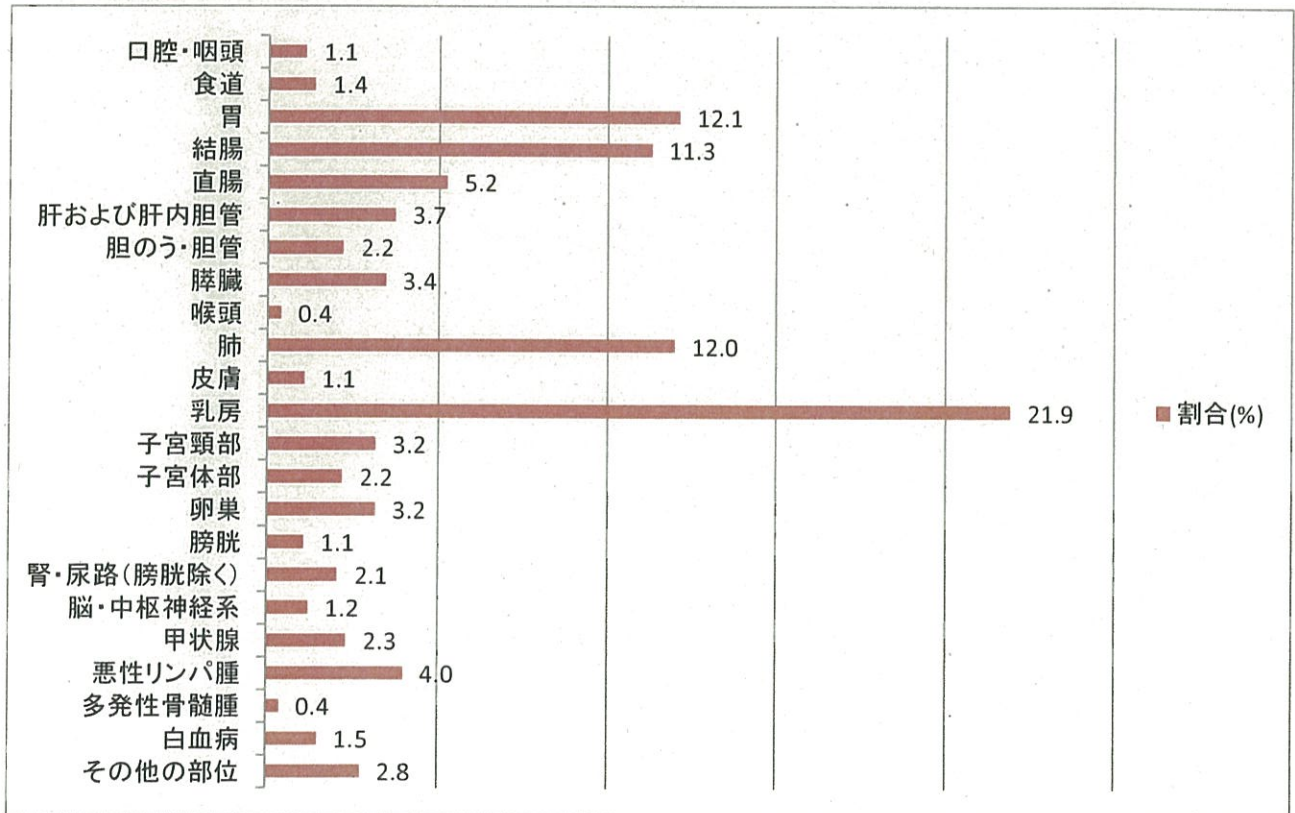


70歳代では、結腸がん、胃がん、肺がんが高く、60歳代では乳がんが最も高く、次いで胃がん、肺がん、結腸がんとなっている。

【70-79歳】

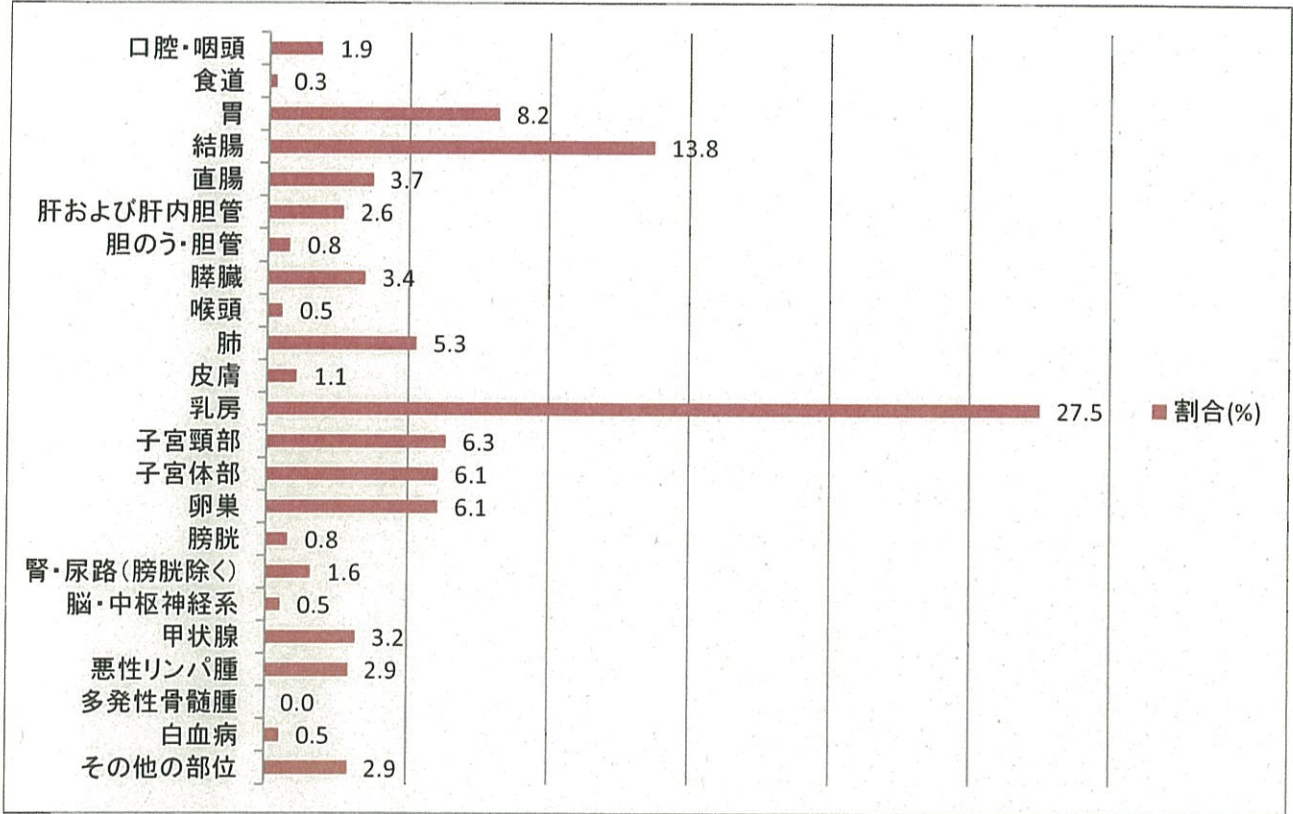


【60-69歳】

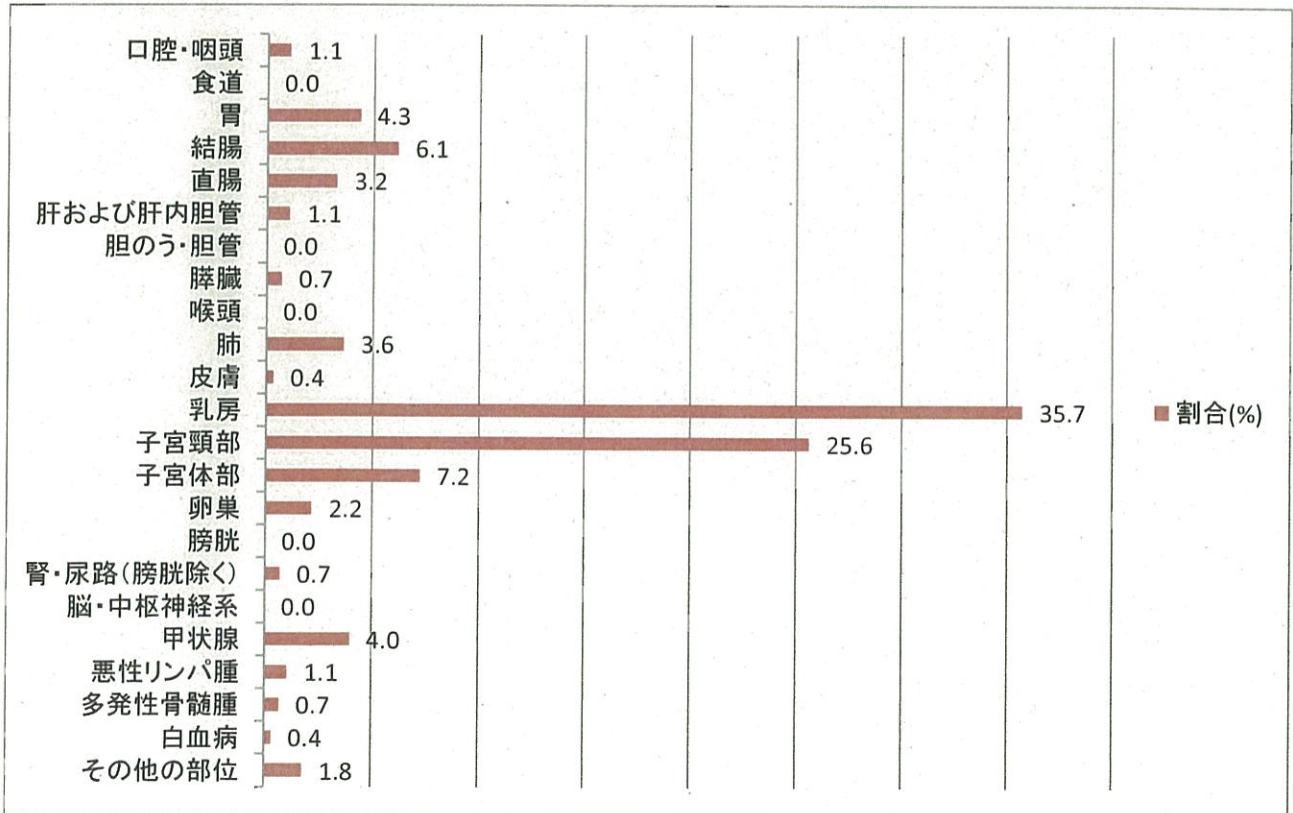


40歳から50歳代になると、乳がんが最も高くなっており、40歳代では子宮頸がんも多い。

【50-59歳】

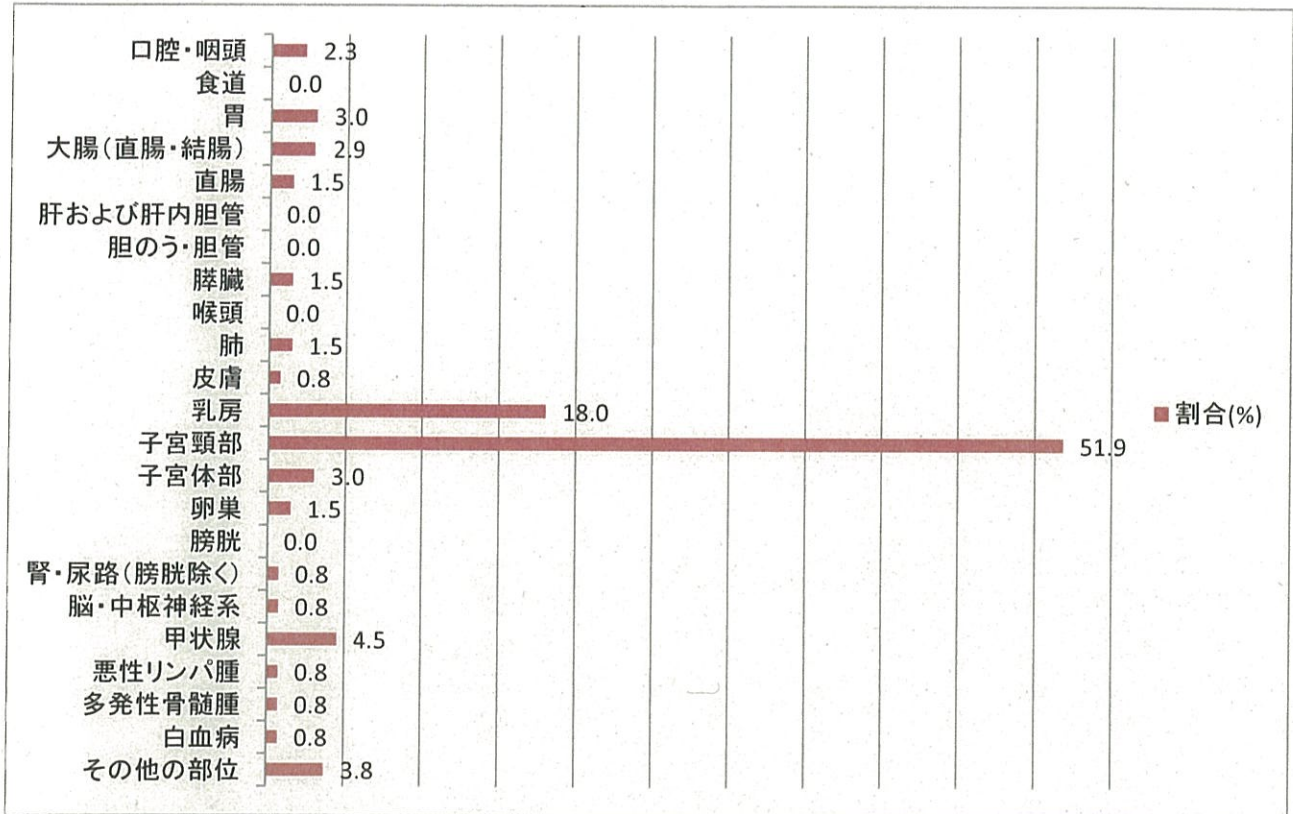


【40-49歳】

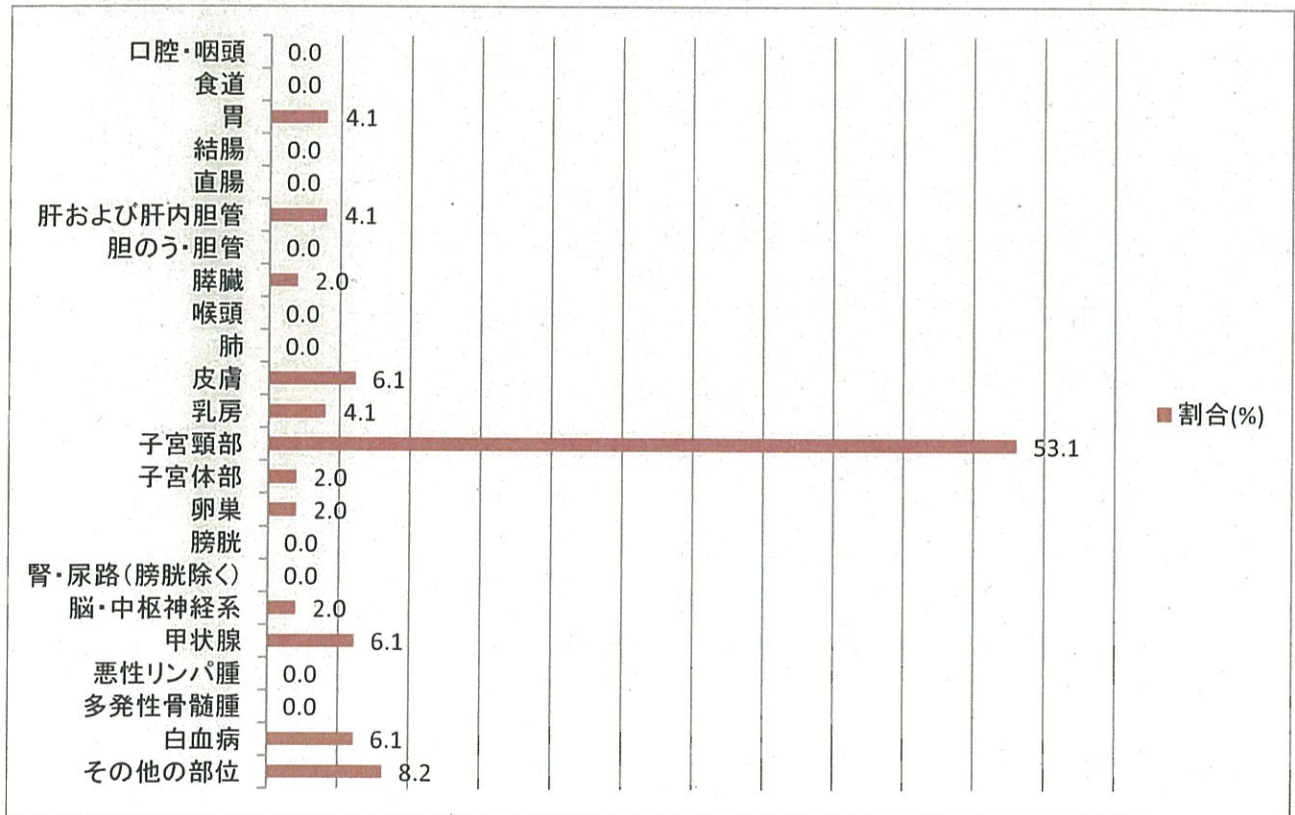


20歳代以下と30歳代ともに子宮頸がんが最も高く、30歳代では乳がんも高い割合となっている。

【30-39歳】



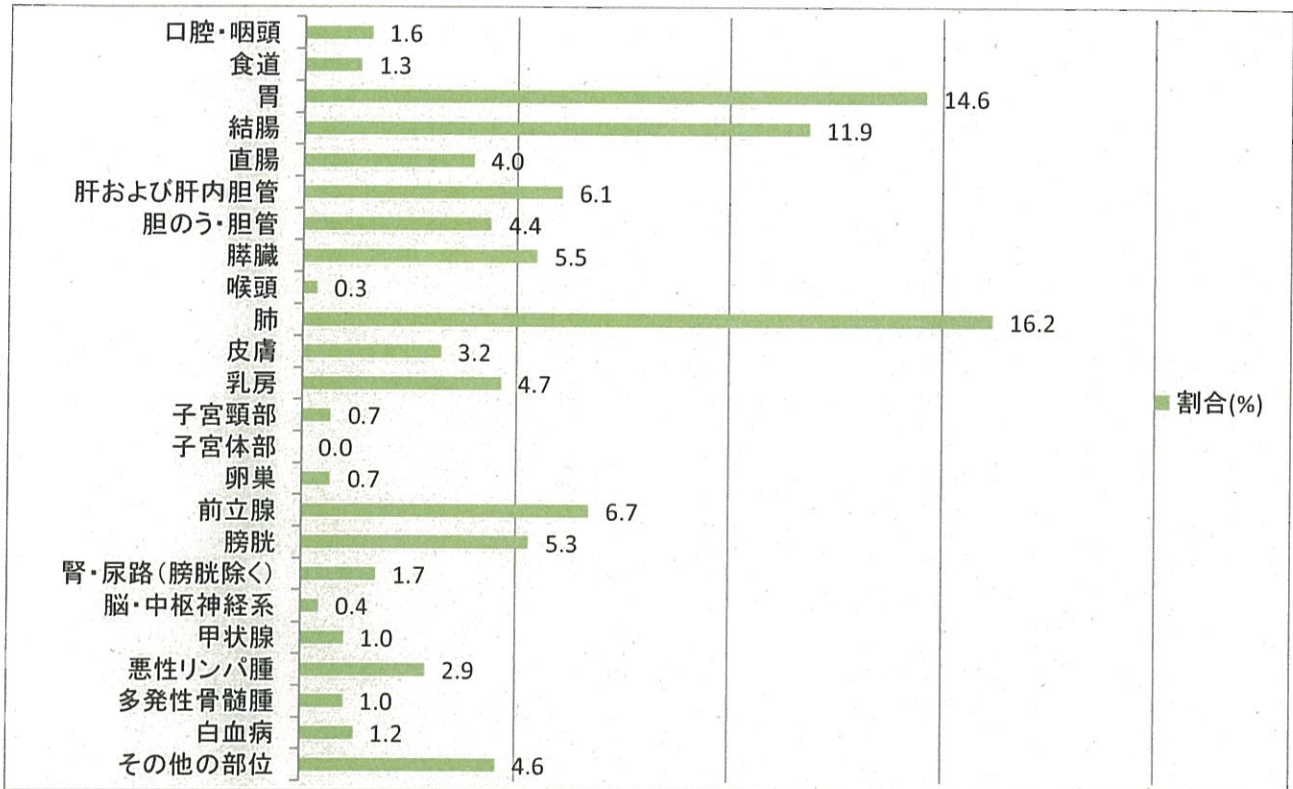
【0-29歳】



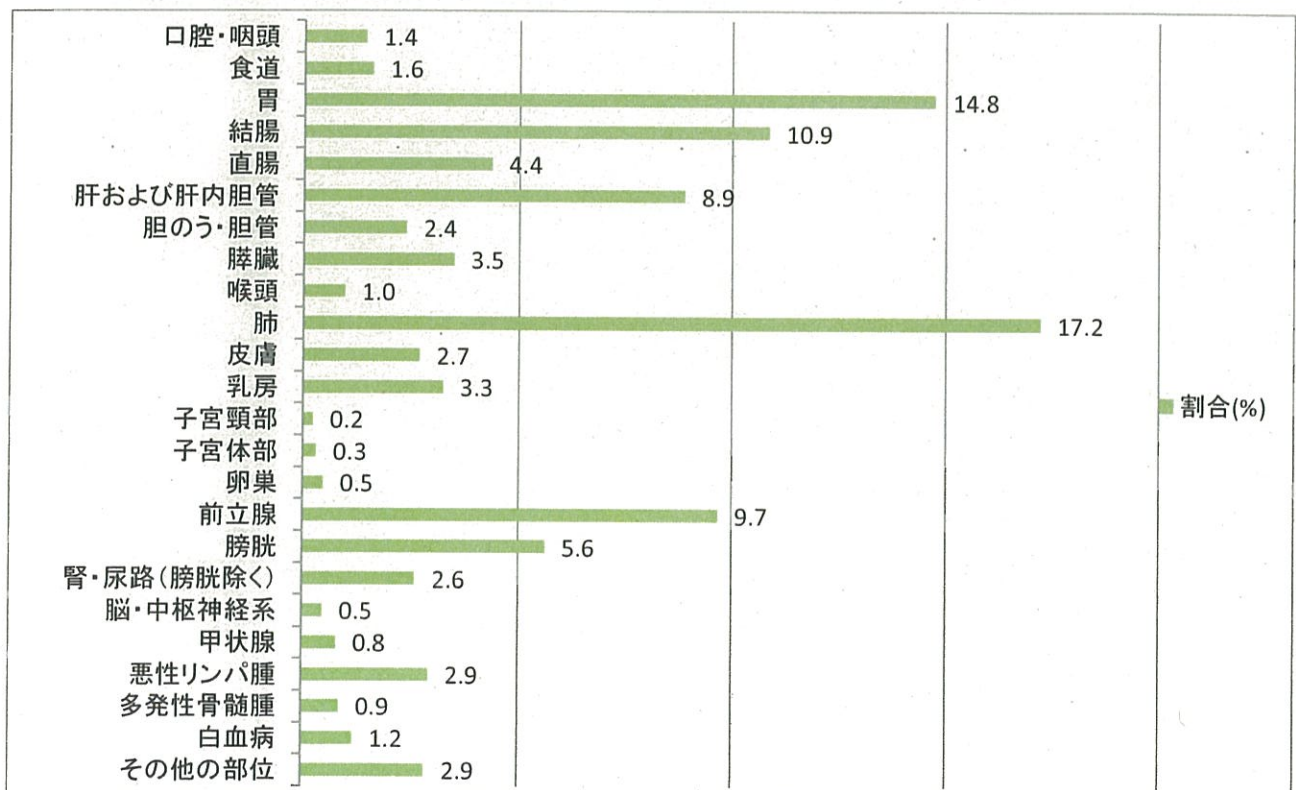
年齢階級別罹患割合：部位別、性別（男女計） ※標準集計表の表 2-A、2-B から作成

年齢別では 60 歳以上では胃がん肺がんの占める割合が高く 40 歳～50 歳代では乳がんの占める割合が高い。また 39 歳以下では子宮頸がんやその他の部位が高い割合となっている。

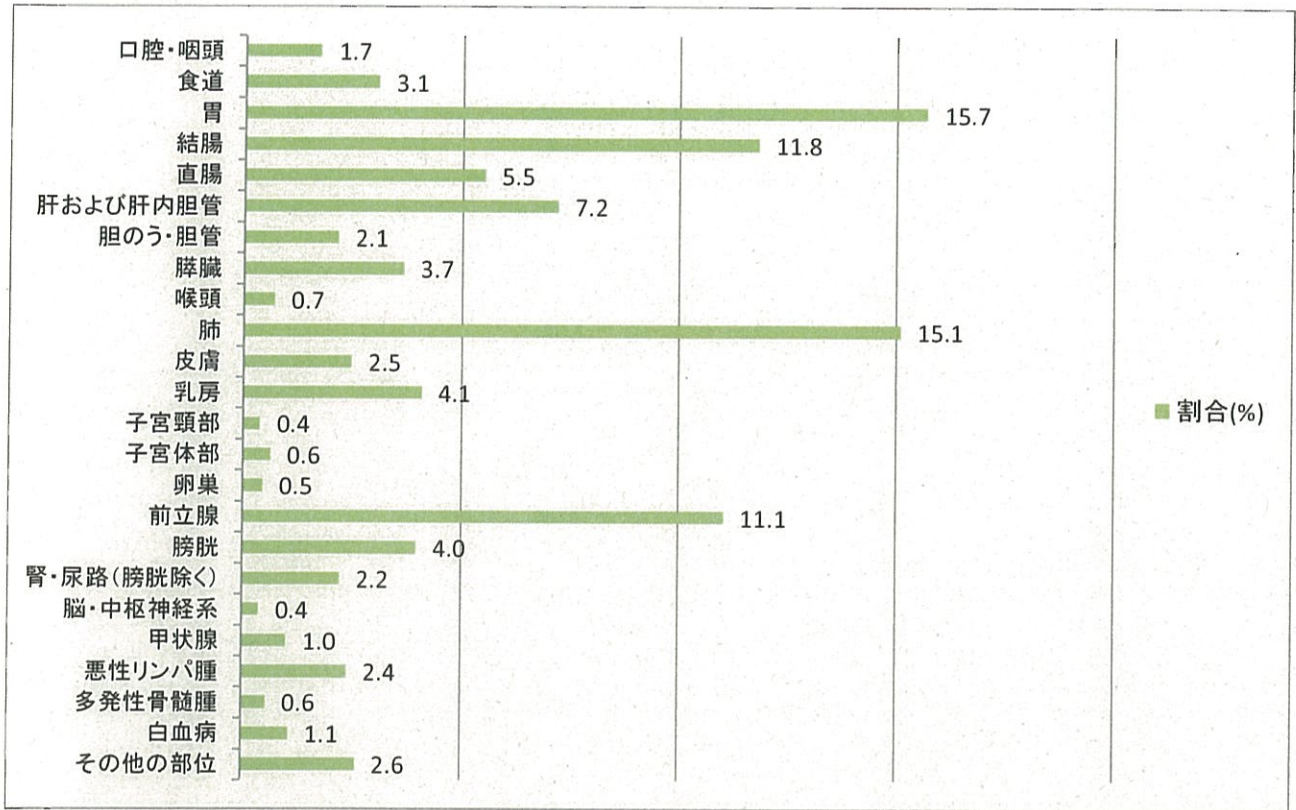
【85 歳以上】



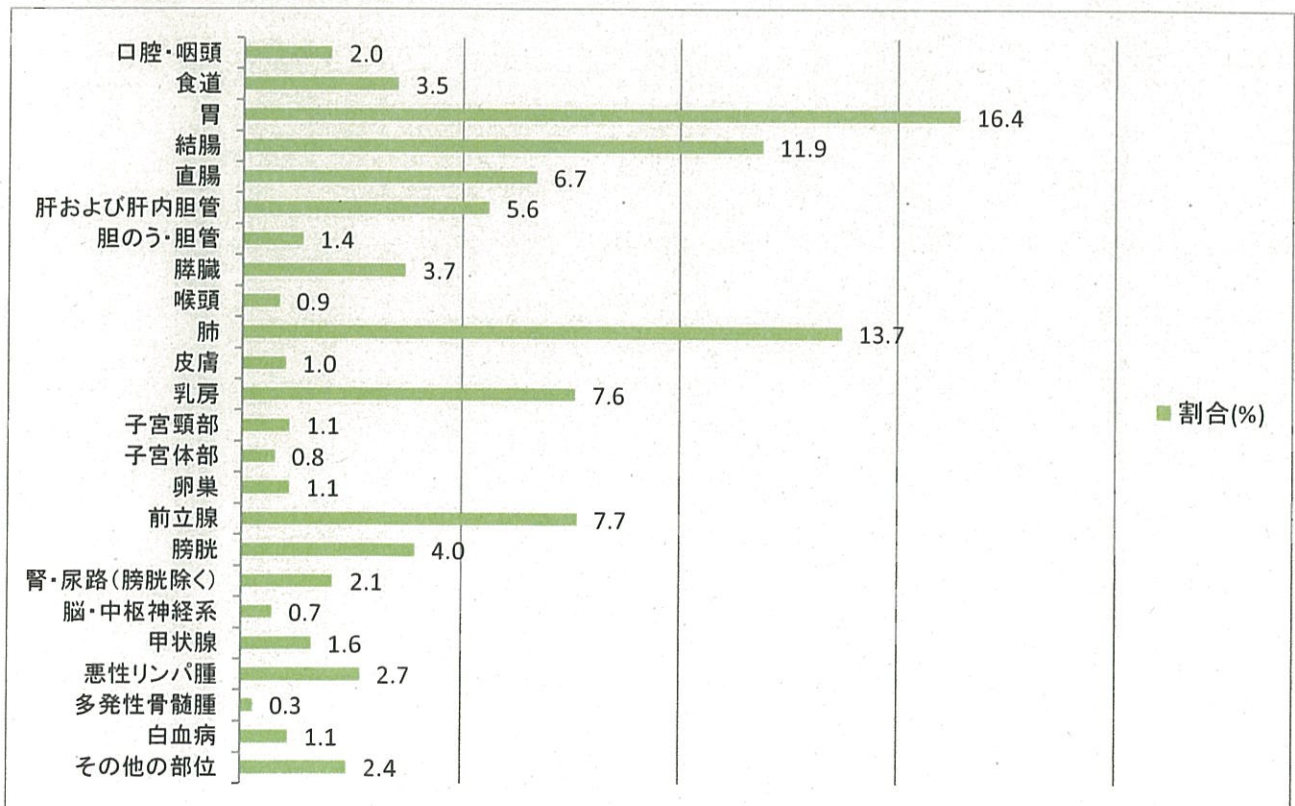
【80-84 歳】



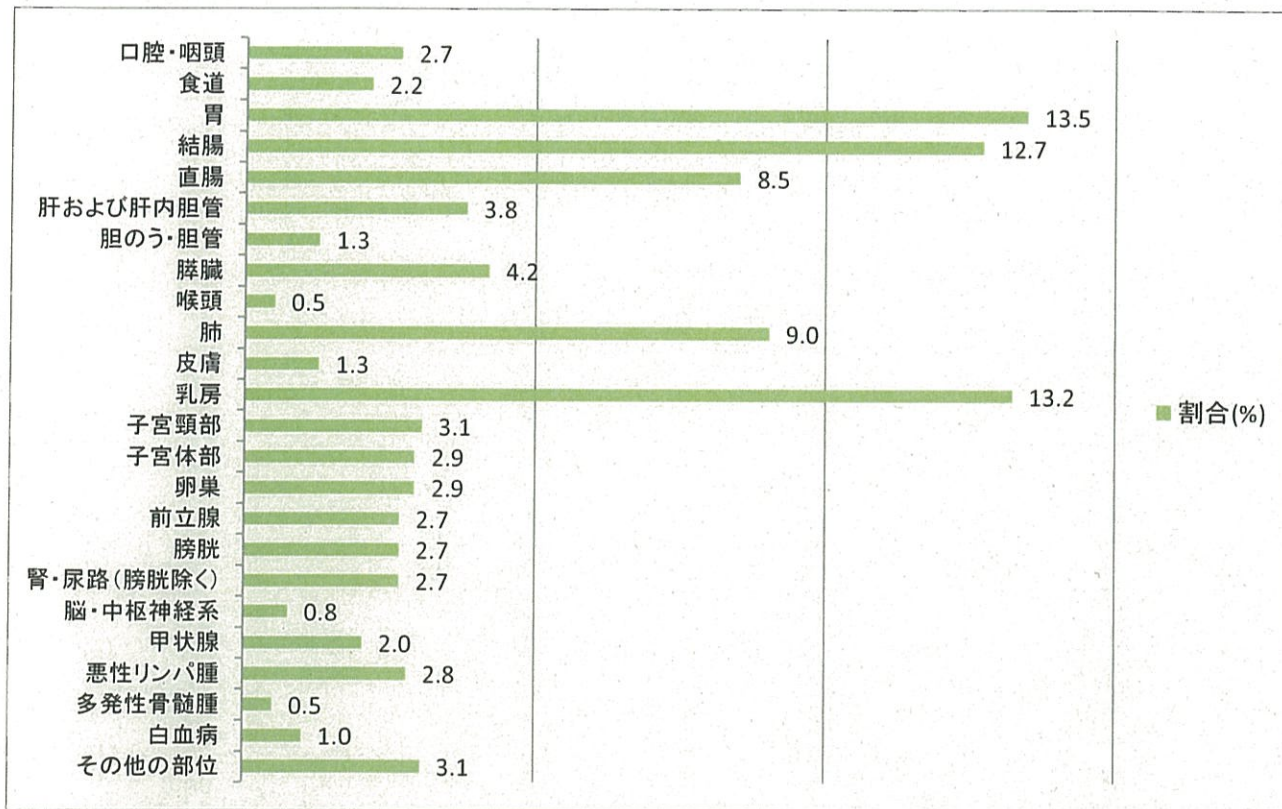
【70-79 歳】



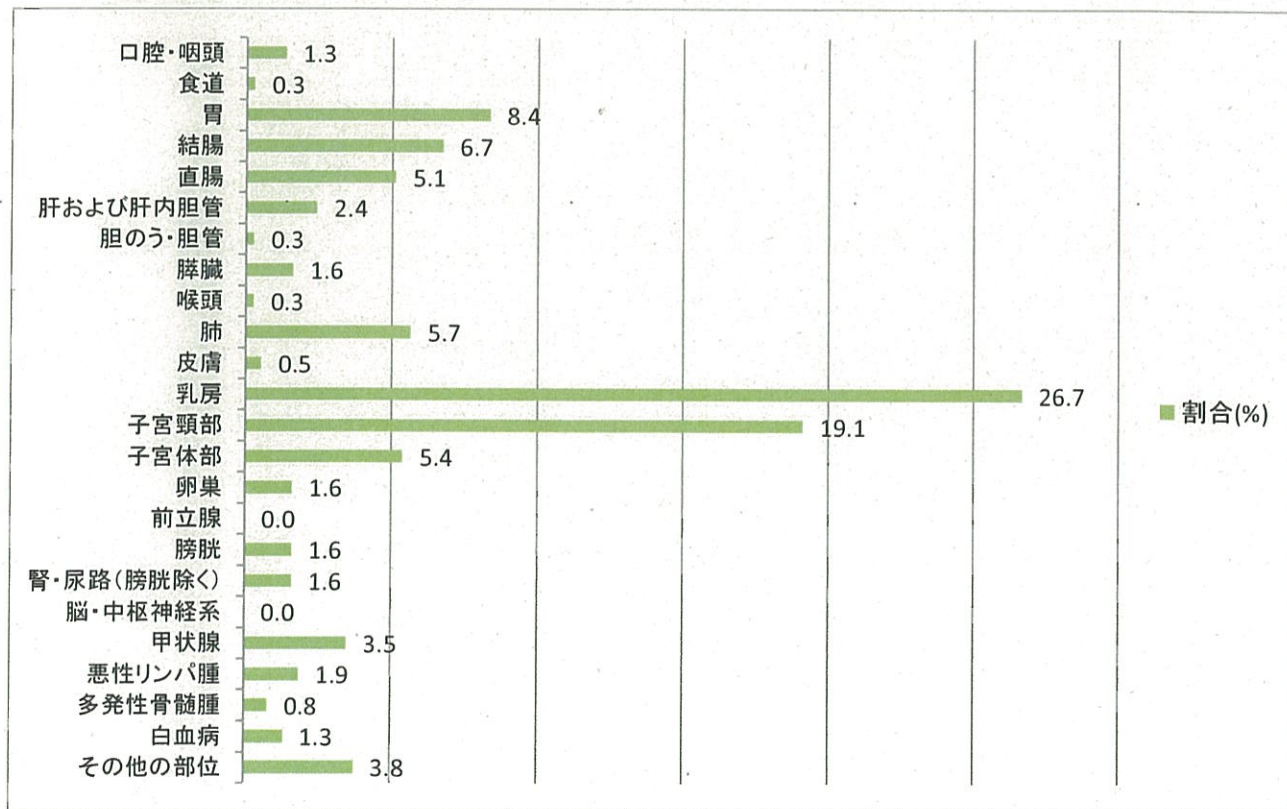
【60-69 歳】



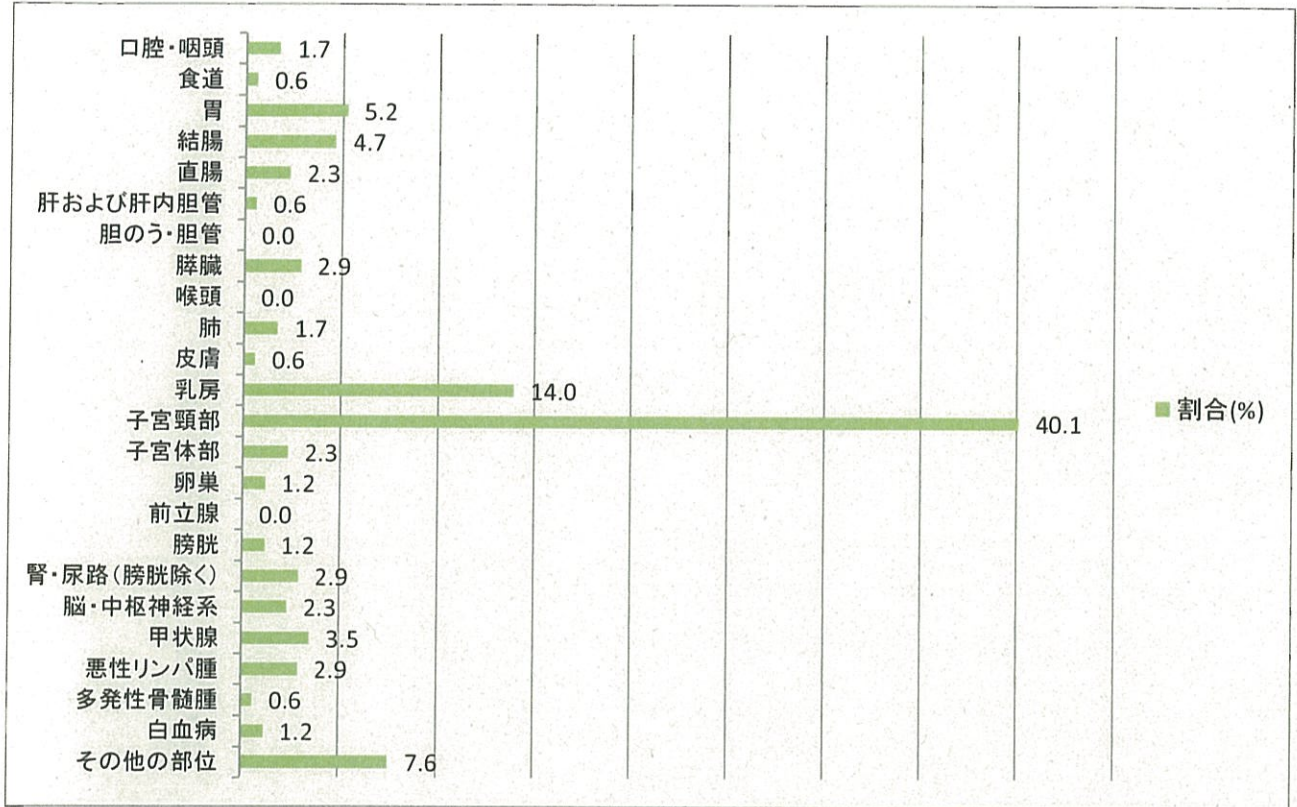
【50-59 歳】



【40-49 歳】



【30-39 歳】



【0-29 歳】

